

姉妹町・高知県の津野町へ交換留学

訓小・居小4人が訪問し交流

訓子府町の姉妹町・高知県津野町に訓子府町の児童4人が、交換留学生として1月8日から15日まで訪問しました。

訪問したのは、訓子府小学校6年の大里祐太くん、伊田七海さん、河端紗知さん、居武士小学校6年の古沢果歩さん。

津野町でホームステイし、葉山小学校と中央小学校にそれぞれ通いました。

4人は、出発前に初めての土地を訪問することから緊張していましたが、受け入れ家庭や通学する各小学校の児童ともすぐに仲良くなり、交流を深めていました。

※津野町での歓迎式の様子など18ページ「姉妹まちからのお便り」にも掲載しています。



高知県物産展 津野町コーナーにぎわう

ミス高知らも参加

高知県の観光と物産展が1月9日から14日まで北見市で開かれました。姉妹町の高知県・津野町からも多数の特産品が販売され、にぎわいました。

「姉妹都市コーナー」に津野町産のしょうが、さつまいも、里いも、煎茶、鶏卵の「土佐ジロー」が販売されたほか、昨年製品化された津野町産オリジナルの大福「満天の星」も初めて販売されました。

津野町からは、産業建設課の吉村伸一さんと株式会社「満天の星」の明神望美さんも販売員となり、津野特産品を販売しました。

この物産展に参加したミス高知の谷脇陽香さんと土佐おもてなし勤王党の「武市半平太」さんらが、1月8日に本町を訪れ、「訓子府は寒いですね」と驚いた表情で菊池町長と歓談しました。



リコーダーコンテストで全国切符獲得

訓子府小学校スクールバンドと訓子府中学校生徒4人による「リコーダーアンサンブル」が、1月11日に札幌市で開かれた第27回全道リコーダーコンテストで、ともに金賞を獲得し、3月27日東京都で開かれる第34回全日本リコーダーコンテストに出場することになりました。

訓小、訓中ともに昨年11月に北見市で開かれた第34回北見地方リコーダーコンテストで金賞を獲得し、全道大会に推薦出場となりました。

全道大会で訓小は、25人のメンバーが合奏の部に出場し「アイリッシュ ユア アンド ダンス」を、訓中は重奏の部に出場、四重奏で「伝統的なアイルランドの民謡」をそれぞれ演奏しました。訓小は、3年連続の全国大会出場（平成23年は東日本大震災の関係から全国大会が中止）。

1月17日に役場を訪れた、訓小の森田涼介くん（6年）と森谷歩香さん（5年）、また、訓中は1年生の山本優寧さんら4人は「もっと練習し全国大会では、全道大会以上の演奏をしたい」と誓っていました。

訓小スクールバンド



訓中リコーダーアンサンブル



全道大会で北見選抜として活躍

訓中ソフトボール部

訓子府中学校女子ソフトボール部のメンバーを含む北見選抜チームが、1月に札幌市で開かれた第12回全道ジュニア女子ソフトボール選抜大会に出場しました。

北見選抜チームは、訓中の林利明監督が代表監督を務め、2年生の堰代ゆきのさんら9人と、北見市内の三つの中学校から9人の合わせて18人の選手。

チームは、1月8、9日にリーグ戦に臨みましたが、決勝トーナメントには進むことができませんでした。

それでも訓中のメンバーは、競技会場の屋内施設でいっぱいプレーするなど活躍しました。

